

平成 30～令和 2 年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発
ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班
分担研究報告書

研究分担課題名：HIV 感染妊娠に関する研究の統括と成績の評価および妊婦の HIV 感染に関する
認識度の実態調査」

研究分担者：喜多恒和 奈良県総合医療センター
周産期母子医療センター兼産婦人科、センター長兼統括部長

研究協力者：宮木康成 医療法人緑風会三宅おおふくクリニック 院長
Medical Data Labo 代表

佐道俊幸 奈良県総合医療センター 産婦人科 部長
多田和美 独協医科大学医学部・大学院 産婦人科学講座 講師
石橋理子 奈良県総合医療センター産婦人科 医長
吉野直人 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野 准教授
杉浦 敦 奈良県総合医療センター産婦人科 副部長
田中瑞恵 国立国際医療研究センター小児科 医員
山田里佳 JA 愛知厚生連 海南病院産婦人科 外来部長
定月みゆき 国立国際医療研究センター産婦人科 産科医長
大津 洋 国立国際医療研究センター 臨床研究センターサイエンス部
臨床疫学研究室長
桃原祥人 JA とりで総合医療センター産婦人科 部長
外川正生 大阪市立総合医療センター小児総合診療科・小児救急科 部長
戸谷良造 和合病院 副院長
塚原優己 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター産科 診療部長
和田裕一 宮城県産婦人科医会 理事

研究補助員：榎本美喜子 奈良県総合医療センター産婦人科

研究要旨：

各分担研究の進捗状況を分担研究者間で相互評価し、各研究分担の研究計画を適時修正した。ホームページの継続的運営によりマニュアル・ガイドラインや学会発表スライドの公開および社会的情報の拡散を行い、医療従事者および国民の HIV 感染妊娠に関わる認識と知識の向上を図った。HIV スクリーニング検査の偽陽性にかかわる妊婦の混乱を回避するために、大学病院 1 か所、公的病院 2 か所、市中病院 1 か所、有床診療所 2 か所の全国定点施設 6 か所に受診する妊娠初期の妊婦を対象に、HIV スクリーニング検査に関する基礎知識とスクリーニング検査が陽性であった場合の反応について 3 年間アンケート調査を行った。アンケート調査は平成 28 年度のパイロット調査から始まり通算 5 年間継続した。さらに令和 2 年度は奈良市内有床診療所 5 か所についても同様のアンケート調査を実施した。その結果は、HIV スクリーニング検査が陽性でもその 95%以上は偽陽性であることを知っていたのは、全国定点施設でも奈良市内有床診療所でも同様に 6%程度であった。

さらに定点施設では年次変動もなく、施設の地域差や診療機能差にも影響されなかった。したがってスクリーニング検査が陽性と告知された場合、妊婦の50%以上が非常に動揺し、90%以上が動揺すると回答した。以上から妊婦の知識レベルは非常に低いことが判明し、リーフレットや小冊子の配布などによる情報提供等、何らかの介入が必要であろうことが推察された。以上の結果から令和2年度では定点施設6か所および奈良市内の有床診療所5か所の妊婦を対象とし、妊娠初期妊婦にA3折込型リーフレット「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」（令和元年度発刊）を配布し、通読を促したうえでアンケート調査を行った。リーフレットを読んでいたのは、定点施設では65.1%（未配布補正後）、奈良市内有床診療所では82.4%で、共にそのうちの90%以上の妊婦がリーフレット内容を50%以上理解できていた。近年の梅毒患者の増加や梅毒感染妊婦の治療効果および風疹ワクチンの効果を問う設問に対しては、80%以上の正答率を示した。妊婦はこれらの知識をすでに持っていたのか、リーフレット配布の効果であるのかは確認が必要である。しかしながら、HIVスクリーニング検査の偽陽性について知識があるものは定点施設で6.6%、奈良市内有床診療所でも5.9%にとどまり、過去4年間の定点調査の結果と比べて上昇は認められなかった。この原因は、リーフレット通読前の知識を確認するような設問文にあると推測され、2021年度に修正することとした。A6サイズ34ページの小冊子「HIVや梅毒をはじめとする性感染症のすべてが簡単にわかる本」も令和3年3月に発刊した。今後は上記リーフレットや小冊子などの情報の普及啓発資料の作成をさらに推進し、その周知拡散方法を検討する必要がある。紙媒体や電子媒体のほか、SNSやマスコミの活用が検討されるべきである。普及啓発の対象は若者を中心とする一般国民であるばかりか、HIV感染妊娠の診療を担う医療従事者も含まれるべきで、HIV感染妊娠への診療体制の整備にも役立つものとする。

A.研究目的

1. 各分担研究の進捗状況を分担研究者間で相互評価する。
2. ホームページの継続的運営により研究成果を公開する。
3. HIVスクリーニング検査の偽陽性にかかわる妊婦の混乱を回避する適切な対策を提案する。

B.研究方法

1. 研究分担者相互による研究計画評価会議や、研究協力者も加えた研究班全体会議を適時行い、各研究分担の進捗状況と成績を相互評価し、年度ごとあるいは年度にまたがる研究計画の修正を行う。
2. ホームページの継続的運営により研究成果や最新情報を公開することで、HIV感染妊娠に関わる国民の認識と知識の向上に寄与した。

3. 地域や医療レベルの異なる分娩取り扱い施設の妊婦に対し、HIV感染に関するアンケート調査を3年間実施した。令和2年度には奈良市内有床診療所5か所も追加し、さらにA3折込型リーフレット「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」を配布し、通読を促したうえでHIV感染に関するアンケート調査を実施した。アンケートでは偽陽性に関する理解度など妊婦の知識レベルの変化を把握し、教育啓発活動に資することとした。妊婦アンケート調査の対象施設は、①大学病院；獨協医科大学病院（栃木県）、②公的病院；奈良県総合医療センター（奈良県）・都立大塚病院（東京都）、③市中病院；成増産院（東京都）、④有床診療所；松田母子クリニック（埼玉県）・伊東レディースクリニック（大分県）の定点6施設および奈良市内の有床診療所5施設とした。定点施設はすべて研究分担者あるいは研究協力者が所属する施設

とした。資料1に妊婦へのアンケート調査依頼文を、資料2にアンケート調査回答用紙を示す。
(倫理面への配慮)

当班の研究では HIV 感染に関わる産科医療と小児医療および社会医学の中で行われることから、基本的に「倫理面への配慮」は欠くべからざるものである。細心の注意をもって対処した。調査研究においては、平成29年2月改正告示の文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守しプライバシーの保護に努めた。

C.研究結果

1. 研究代表者、研究分担者およびアドバイザーによる研究計画評価会議および研究班全体会議は、それぞれ年2回開催した。令和元年度までの2年間は対面での会議が開催できたが、令和2年度はすべてウェブ会議となった。しかし会議の成果は十分得られたと思われる。各研究分担の研究計画を再検討し、これを修正した。産婦人科班・小児科班による HIV 感染妊娠の発生に関する全国2次調査回答や報告症例のデータベースの管理を IT 化し、回答のウェブ化とデータの共有化および解析の迅速化を目指した。

2. ホームページの運営では、「HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン」2017年度初版や「HIV 母子感染予防対策マニュアル」2018年度第8版をはじめ、A3 折込型リーフレット「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」2019年度版や A6 サイズ小冊子「HIV や梅毒をはじめとする性感染症のすべてが簡単にわかる本」2020年度版などの教育啓発資料、さらに研究報告書や各種学会発表スライド、社会的最新情報なども掲載した。さらにホームページの閲覧状況を毎月経時的に把握し、掲載内容の更新と閲覧数の変動を解析することにより、ホームページの啓発効果を検討した(資料3)。閲覧数は月間2000前後で推移しており、Q&A のコーナーが約70%以上を占め、次いでガイドライン・マニュアル・

リーフレットと HOME のコーナーが10%前後で多く、資料ダウンロードや研究報告書のコーナーの閲覧数は少なかった。新情報の掲載による閲覧数の変動は明確ではなかった。

3. 妊娠初期の妊婦を対象とした HIV スクリーニング検査に関するアンケート調査の結果について、定点施設は令和2年度および過去4年間の結果を表1に、令和2年度に初めて行った奈良市内の有床診療所の結果を表2に示した。令和2年度はリーフレットの事前配布、アンケート調査内容の追加、新型コロナウイルス感染症対策などの諸事情により、調査回答期間が1か月程度となったため、定点施設では3か所から回答を回収できず、また総数121例と十分な回答数が得られなかった。しかし奈良市内有床診療所においては迅速な協力が得られ、119例と年間分娩数に見合った回答数を得ることができた。解析結果では、定点と奈良市内でそれぞれ、HIV が母子感染することを知っていたのは83.5%と81.5%であったものの、スクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていたのは54.5%と56.3%で、さらにスクリーニング検査が陽性であっても、95%以上は偽陽性であることを知っていたのは、たった6.6%と5.9%であることが判明した。スクリーニング検査が陽性であった場合、確認検査結果が出るまでの1週間は非常に動揺すると回答したのが52.9%と55.6%におよび、アンケート調査により知識が増えたと回答したのが95.9%と98.3%もあった。また定点施設においては、これまでの4年間の調査結果と比較しても、大きな変動はなく、特にスクリーニング検査偽陽性の認識率は、リーフレットを事前配布したにもかかわらず改善が認められなかった。令和2年度のアンケートではリーフレットの事前配布に関する設問を追加した。その結果、アンケート前にリーフレットを読んでいたのは、定点で45.0%(未配布修正後65.1%)、奈良市内で82.4%もあり、既読者のうち理解度が50%以上と回答したのは定点・奈良市内共に90.8%と高率であった。

近年の梅毒患者の増加や梅毒感染妊婦の治療効果および風疹ワクチンの効果を問う設問に対しては、80%以上の正答率を示した。

D. 考察

1. 本研究班では、全国の産科・小児科を標榜する多数の医療施設を対象とした疫学調査とその解析を骨幹としている。さらに HIV 感染女性を対象としたコホート調査やアンケート調査も行い、医療者向け診療ガイドラインや母子感染予防対策マニュアルの策定・改訂、さらには HIV をはじめとする性感染症の情報を提供するリーフレットや小冊子の刊行などの国民への教育啓発法の開発も行っている。研究分担班内での研究推進のみならず、研究計画評価会議による研究分担者間での軌道修正は、各分担研究課題の完遂と成果をより高めることに有効であったと考える。

2. 本研究班の活動内容を適時公開することは、国民への教育啓発に直結することから、各種の情報掲載による HP の更新を頻回に行い、閲覧者の最も多い入り口である Q&A コーナーの改訂と内容追加、他の関連学会や団体の HP とのリンクなどをさらに進める必要である。HP の認知度が上昇し閲覧数が増加すれば、その変動の解析は、情報発信の効果を検証できると推測されることから今後積極的な解析を進める予定である。

3. 妊婦へのアンケート調査から、妊婦の HIV 感染に関する知識レベルは経時的にも地域的にも非常に低いまま経過している。しかしリーフレットの配布を伴うこのアンケート調査は、妊娠女性への教育啓発として意義あるものと考えられる。さらにアンケート中の設問文を修正し、リーフレットの配布効果を正確に検証できるよう検討する。また、近年の梅毒患者の増加や梅毒感染妊婦の治療効果および風疹ワクチンの効果を問う設問に対しては、80%以上の正答率を示したことから、妊婦はこれらの知識をすでに持っていたのか、リーフレット配布の

効果であるのかは確認が必要である。

E. 結論

研究代表者、研究分担者およびアドバイザーによる複数回の研究計画評価会議により、研究計画の修正と確実な研究遂行が可能となった。しかしながら、妊婦においては HIV 感染妊娠に関する知識レベルは低く、ホームページの充実や若者向けのリーフレットや小冊子の発行ならびに SNS やマスコミの活用など情報伝達方法の向上を図る必要がある。より適切で有効な教育啓発法の開発とそれらの効果の検証が必要であると考えられた。

G. 研究業績

著書

1. 喜多恒和、杉浦 敦、谷村憲司. C.周産期感染症の管理－母子感染対策－ 12 HIV 感染症. 産婦人科感染症マニュアル（一般社団法人日本産婦人科感染症学会編）金原出版 東京 pp304-312, 2018
2. 喜多恒和、石橋理子. C.周産期感染症の管理－母子感染対策－ 11 劇症型 A 群連鎖球菌感染症. 産婦人科感染症マニュアル（一般社団法人日本産婦人科感染症学会編）金原出版 東京 pp299-303, 2018
3. 谷口晴記、山田里佳、塚原優己、井上孝実、千田時弘、大里和広、定月みゆき、中西豊、白野倫徳、鳥谷部邦明、吉野直人、杉浦敦、田中瑞恵、蓮尾泰之、喜多恒和. HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン. 平成 29 年度厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班編 2018
4. 山田里佳、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、出口雅士、中西 豊、定月みゆき、大里和広、白野倫徳、田中瑞恵、鳥谷部邦明、千田時弘、杉野祐子、渡邊英恵、羽柴知恵子、

- 吉野直人、杉浦 敦、廣瀬紀子、前田尚子、
桃原祥人、喜多恒和. HIV 母子感染予防対
策マニュアル 第 8 版. 平成 30 年度厚生
労働省科学研究費補助金エイズ対策政策
研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後
に関する疫学的・コホートの調査研究と
情報の普及啓発法の開発ならびに診療体
制の整備と均てん化に関する研究」班編
2019
5. 田中瑞恵. 後天性免疫不全症.小児科診療
ガイドライン第 4 版 (五十嵐隆編) 総
合医学社 東京 pp580-589, 2019
 6. 外川正生. 小児、青少年期における抗
HIV 療法. 抗 HIV 治療ガイドライン (鯉
淵智彦、白阪琢磨編) (2019 年 3 月発行
7 月 27 日改訂), 平成 30 年度厚生労働行
政推進調査事業費補助金エイズ対策政策
研究事業 抗 HIV 治療ガイドライン HIV
感染症及びその合併症の課題を克服する
研究班, 128-141,2019
 7. 白野倫徳、山田里佳、喜多恒和. 産科編 II.
妊娠関連疾患 HIV 感染症. 臨床婦人科
産科 2020 増刊号 産婦人科処方のすべて
2020 症例に応じた実践マニュアル 医
学書院 東京 pp288-290, 2020
 8. 喜多恒和. E. 女性医学 6.感染症 5) STI
(5) HIV. 産婦人科専門医のための必修
知識 2020 年度版 (編集・監修 公益社
団法人日本産科婦人科学会) 株式会社杏
林舎 東京 ppE88-E90, 2020
 9. 佐道俊幸. B. 周産期 7.合併症妊娠 3)
血液疾患合併妊娠. 産婦人科専門医のた
めの必修知識 2020 年度版 (編集・監修
公益社団法人日本産科婦人科学会) 株式
会社杏林舎 東京 ppB103-B105, 2020
 10. 田中瑞恵. 小児の HIV 感染症. 今日の小
児治療指針第 17 版 (水口雅編) 医学書
院 東京 pp.330, 2020
 11. 田中瑞恵. HIV 感染症. 小児感染免疫学
(一般社団法人 日本小児感染症学会編)
- 朝倉書店 東京 pp.534-541, 2020
12. 外川正生. HIV 陽性の母親から生まれた
児に対する予後管理. HIV 感染症「治療の
手引き」日本エイズ学会 (HIV 感染症治
療委員会 編) 日本エイズ学会 HIV 感染
症治療委員会 東京 pp.34-35, 2020
 13. 田中瑞恵. 小児、青少年期における抗 HIV
療法 (四本美保子、白阪琢磨編) 抗 HIV
治療ガイドライン 令和 2 年度厚生労働
行政推進調査事業費補助金エイズ対策政
策研究事業 抗 HIV 治療ガイドライン
HIV 感染症及びその合併症の課題を克服
する研究班東京 in press
 14. 吉野直人、田中瑞恵、岩動ちず子、伊藤由
子、大里和広、小山理恵、杉浦敦、喜多恒
和. HIV 感染児の診療に関する全国調査.
日本エイズ学会誌 in press
- 論文
(欧文)
1. Yoshino N, Takeshita R, Kawamura H, Sasaki
Y, Kagabu M, Sugiyama T, Muraki Y, Sato S.
Mast cells partially contribute to mucosal
adjuvanticity of surfactin in mice. *Immun
Inflamm Dis* 6: 117-127, 2018
 2. Yamanaka J, Nozaki I, Tanaka M, Uryuu H,
Sato N, Matsushita T, Shichino H: Moyamoya
syndrome in a pediatric patientwith congenital
human immunodeficiency virus type 1
infection resulting in intracranial hemorrhage.
J of Infect Chemother 24: 220-223, 2018
- (和文)
1. 扇谷綾子、安原 肇、竹田善紀、石橋理子、
平野仁嗣、京谷有希子、酒井直子、喜多恒
和、箕輪秀樹:『妊娠・授乳と薬のデータベ
ース』作成と運用における課題. 日本周産
期・新生児医学会雑誌 54 : 60-65, 2018
 2. 石橋理子、喜多恒和. 周術期感染症を含む
重症感染症 劇症型 A 群レンサ球菌感染症
(GAS). 臨床婦人科産科 72 : 166-171,

2018

3. 谷口晴記、山田里佳、喜多恒和、塚原優己：産婦人科感染症の診断・管理～その秘訣とピットフォール. 臨床婦人科産科 72 : 88-92, 2018
4. 谷口晴記、白野倫徳、山田里佳、塚原優己：HIV 母子感染予防のための薬物療法. 周産期医学 48 : 101-104, 2018
5. 杉浦 敦、喜多恒和：特集周産期と医療安全 感染予防. 周産期医学 49 : 702-705, 2019
6. 杉浦 敦：近年の HIV 感染妊娠、特に母子感染例におけるその臨床的・疫学的検討. 産科と婦人科「若手の最新研究紹介コーナー」 86 : 371-373, 2019
7. 喜多恒和、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、山田里佳、定月みゆき、桃原祥人：HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究. 平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業エイズ対策研究事業の企画と評価に関する研究 総括研究報告書 福武勝幸編 76-79, 2019
8. 山田里佳、白野倫徳、谷口晴記、喜多恒和：特集母子感染症の必修知識—エキスパートに学び予防につなげる HIV 母体管理—分娩管理を含めて. 小児内科、52 : 96-100, 2020
9. 田中瑞恵：HIV 母体児への対応とフォローアップ. 小児内科、52 : 101-104, 2020
10. 佐道俊幸、石橋理子、喜多恒和：特集/【必携】専攻医と指導医のための産科診療到達目標 病態・疾患編【合併症妊娠】血液疾患：特発性血小板減少性紫斑病. 周産期医学 50 : 1435-1437, 2020
11. 喜多恒和、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、山田里佳、定月みゆき、桃原祥人、大津 洋：HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫

- 学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究. 令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業の企画と評価に関する研究 総括研究報告書 福武勝幸編 116-119, 2020
12. 山田里佳、白野倫徳、谷口晴記、喜多恒和：HIV 母体管理—分娩管理を含めて. 小児内科 52 : 96-100, 2020
 13. 田中瑞恵：HIV 母体児への対応とフォローアップ. 小児内科 52 : 101-104, 2020
 14. 島田真実、田中瑞恵、大田倫美、渥美ゆかり、本田 真梨、吉本優里、大熊喜彰、兼重昌夫、瓜生英子、山中純子、水上愛弓、五石圭司、佐藤典子、七野 浩之：結核とリンパ球性間質性肺炎の鑑別に肺生検が有用であった HIV 感染児の二例. 日本小児科学会雑誌 124: 1107-1113, 2020
 15. 山田里佳、谷口晴記：HIV 感染症. 臨床と微生物 48 : 71-76, 2021
 16. 杉野祐子、定月みゆき、谷口 紅、鈴木ひとみ、池田和子、大金美和、中西美紗緒、菊池 嘉、岡 慎一：国立国際医療研究センター (NCGM) における挙児希望 HIV 感染女性の妊娠方法. 日本性感染症学会学会誌 in press

学会発表

<シンポジウム>

1. 杉浦 敦、市田宏司、山中彰一郎、竹田善紀、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、高橋尚子、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、大津 洋、外川正生、喜多恒和：(日本エイズ学会との Joint Symposium) HIV 感染予防の最近の話題—PrEP、U=U などの話題とともに—最近の HIV 母子感染の動向. 日本性感染症学会第 32 回学術大会. 京都、2019.11

2. 山田里佳、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、白野倫徳、出口雅士、中西 豊、鳥谷部邦明、大里和広、千田時弘、杉野祐子、羽柴知恵子、渡邊英恵、定月みゆき、田中瑞恵、喜多恒和：(日本エイズ学会との Joint Symposium) HIV 感染予防の最近の話題—PrEP、U=U などの話題とともに— HIV 母子感染予防マニュアルについて— 一挙児希望 HIV 感染者の感染予防の紹介—。日本性感染症学会第 32 回学術大会。京都、2019.11
3. 喜多恒和：(市民公開講座) HIV 母子感染の現状。市民公開講座「感染症から母子を守るために」。沖縄、2020.2
4. 佐道俊幸：(市民公開講座) クラミジア・ヘルペス・サイトメガロ・トキソプラズマ・HTLV 等の母子感染について。市民公開講座「感染症から母子を守るために」。沖縄、2020.2
4. 林 公一、蓮尾泰之、明城光三、五味淵秀人、宗 邦夫、喜多恒和：本邦における HIV 感染妊婦の経腔的分娩の受け入れ対応について—国内分娩施設における経腔分娩受け入れ可否の現状調査—。第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会。宮城。2018.5
5. 吉野直人、伊藤由子、大里和広、高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一、塚原優己、喜多恒和：妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の変遷と背景。第 35 回日本産婦人科感染症学会学術集会。岐阜。2018.5
6. 大里和広、吉野直人、伊藤由子、高橋尚子、杉浦 敦、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、田中瑞恵、定月みゆき、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一、塚原優己、喜多恒和：未受診妊婦への HIV スクリーニングの現状—妊婦 HIV スクリーニング検査に関する全国調査。第 35 回日本産婦人科感染症学会学術集会。岐阜。2018.5

<一般演題>

1. 杉浦 敦、中西美紗緒、市田宏司、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、喜多恒和：本邦の医療施設において HIV 感染妊娠の経腔分娩は可能か？。第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会。宮城。2018.5
2. 山田里佳、喜多恒和、谷口晴記、井上孝実、千田時弘、大里和広、鳥谷部邦明、中西 豊、定月みゆき、白野倫徳、塚原優己、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、蓮尾泰之：わが国独自の HIV 母子感染予防対策ガイドラインの策定について。第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会。宮城。2018.5
3. 林 彩世、上野山麻水、緒方佑莉、赤羽宏基、栗野 啓、大西賢人、中西美紗緒、高本真弥、大石 元、定月みゆき、山澤功二、矢野 哲：HIV 陽性患者における CIN 発症頻度の検討。第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会。宮城。2018.5
7. 竹田善紀、杉浦 敦、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、榎本美喜子、高橋尚子、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：近年における HIV 感染判明後妊娠の現状。第 35 回日本産婦人科感染症学会学術集会。岐阜。2018.5
8. 杉浦 敦、竹田善紀、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、高橋尚子、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：HIV 感染初産婦における分娩様式に関する検討。第 35 回日本産婦人科感染症学会学術集会。岐阜。2018.5
9. 竹田善紀、杉浦 敦、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、佐久本薫、石橋理子、吉野直人、喜

- 多恒和：近年の HIV の母子感染例に関する臨床的・疫学的検討。第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会。東京。2018.7
10. 辻 満、砂倉麻央、浅野真、福岡真弓、高曉子、川上香織、岩田みさ子、桃原祥人：当院での過去 4 年間における梅毒合併妊娠 8 例の検討。第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会。東京。2018.7
 11. 大里和広、吉野直人、伊藤由子、高橋尚子、杉浦 敦、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、田中瑞恵、定月みゆき、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一、塚原優己、喜多恒和：妊婦 HIV 検査と HIV 母子感染の日本の現状—HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査。第 72 回国立病院総合医学会。神戸。2018.11
 12. 伊藤由子、吉野直人、大里和広、高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一、塚原優己、喜多恒和：未受診妊婦に対する HIV スクリーニング検査状況～全国調査の結果より～。第 72 回国立病院総合医学会。神戸。2018.11
 13. 林 公一、明城光三、五味淵秀人、宗 邦夫、中山香央、蓮尾泰之、喜多恒和：HIV 感染妊婦に関する診療ガイドラインの刊行に当たり。HIV 感染妊娠における経膈的分娩の受け入れ可能施設の現状について。第 72 回国立病院総合医学会。兵庫。2018.11
 14. 杉浦 敦、竹田善紀、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：妊娠中・分娩後に HIV 感染が判明した 194 例の臨床的疫学的解析。第 32 回日本エイズ学会学術集会。大阪。2018.12
 15. 田中瑞恵、外川正生、兼重昌夫、細川真一、前田尚子、寺田志津子、七野浩之、吉野直人、杉浦 敦、喜多恒和：小児 HIV 感染症の発生動向と今後の課題。第 32 回日本エイズ学会学術集会。大阪。2018.12
 16. 桃原祥人、杉浦 敦、竹田善紀、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：妊娠初期 HIV スクリーニング検査陰性例から生じた母子感染に関する検討。第 32 回日本エイズ学会学術集会。大阪。2018.12
 17. 山田里佳、喜多恒和、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、定月みゆき、桃原祥人、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、千田時弘、大里和広、中西 豊、白野倫徳、鳥谷部邦明、杉野祐子、羽柴知恵子、出口雅士：HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン初版と HIV 母子感染マニュアル第 7 版の比較。第 32 回日本エイズ学会学術集会。大阪。2018.12
 18. 吉野直人、伊藤由子、大里和広、高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一、塚原優己、喜多恒和：過去 19 年間の妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の比較と母子感染対策への取り組み。第 32 回日本エイズ学会学術集会。大阪。2018.12
 19. 大里和広、吉野直人、伊藤由子、高橋尚子、杉浦 敦、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、田中瑞恵、定月みゆき、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一、塚原優己、喜多恒和：妊婦 HIV スクリーニングにおける未受診妊婦の問題--妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査。第 32 回日本エイズ学会学術集会。大阪。2018.12.
 20. 杉野祐子、木下真里、小山美樹、谷口 紅、池田和子、大金美和、中西美紗緒、瀧永博之、菊池 嘉、定月みゆき、岡 慎一：国立国際医療研究センター（NCGM）における HIV 感染妊婦の転機と出産場所に関する検討。第 32 回日本エイズ学会学術集会。

大阪. 2018.12

21. 田中瑞恵 : HIV 母子感染の現状と今後の課題. 国際母子カンファレンス. 東京, 2019.1
22. Sugiura A, Ichida H, Nakanishi M, Minoura S, Matsuda H, Takano M, Momohara Y, Sakumoto K, Ohta H, Ishibashi S, Takeda Y, Kita T: Mother to child transmission of HIV in Japan during the antiretroviral therapy (ART) era. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会. 名古屋, 2019.4
23. 山田里佳, 喜多恒和, 谷口晴記, 塚原優己, 井上孝実, 千田時弘, 大里和広, 中西 豊, 定月みゆき, 鳥谷部邦明, 杉浦 敦, 桃原祥人, 出口雅士 : 日本における HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン初版と HIV 母子感染予防対策マニュアル第 7 版の改訂について. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会. 名古屋, 2019.4
24. 大里和広, 杉浦 敦, 谷口晴記, 山田里佳, 桃原祥人, 定月みゆき, 戸谷良造, 稲葉憲之, 和田裕一, 塚原優己, 喜多恒和 : 妊婦 HIV スクリーニングと未受診妊婦の問題点—妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会. 名古屋, 2019.4
25. 桃原祥人, 吉野直人, 伊藤由子, 大里和広, 小山理恵, 塚原優己, 渡邊英恵, 羽柴知恵子, 廣瀬紀子, 佐野貴子, 鈴木ひとみ, 長與由紀子, 谷村憲司, 森實真由美, 木内 英, 喜多恒和 : 妊婦健診における HIV 検査の公費負担及び母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査. 第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会. 宮崎, 2019.5
26. 大里和広, 吉野直人, 伊藤由子, 小山理恵, 高橋尚子, 杉浦 敦, 田中瑞恵, 山田里佳, 谷口晴記, 桃原祥人, 定月みゆき, 塚原優己, 喜多恒和 : 妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査における未受診妊婦の HIV スクリーニングの状況. 第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会. 宮崎, 2019.5
27. 杉浦 敦, 山中彰一郎, 竹田善紀, 市田宏司, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 松田秀雄, 高野政志, 桃原祥人, 小林裕幸, 佐久本薫, 太田 寛, 石橋理子, 藤田綾, 高橋尚子, 吉野直人, 山田里佳, 定月みゆき, 田中瑞恵, 外川正生, 喜多恒和 : HIV 母子感染の国内分娩例に関する検討. 第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会. 宮崎, 2019.5
28. 山田里佳, 谷口晴記, 塚原優己, 井上孝実, 白野倫徳, 出口雅士, 中西 豊, 鳥谷部邦明, 大里和広, 千田時弘, 杉野祐子, 羽柴知恵子, 渡邊英恵, 杉浦 敦, 吉野直人, 定月みゆき, 田中瑞恵, 桃原祥人, 喜多恒和 : 「HIV 母子感染マニュアル第 8 版」改訂内容について. 第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会. 宮崎, 2019.5
29. 杉浦 敦, 竹田善紀, 市田宏司, 中西美紗緒, 箕浦茂樹, 高野政志, 桃原祥人, 佐久本 薫, 石橋理子, 松田秀雄, 吉野直人, 喜多恒和 : HIV 感染妊娠と早産に関する検討. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本, 2019.7
30. 桃原祥人, 吉野直人, 大里和広, 小山理恵, 塚原優己, 谷村憲司, 森實真由美, 木内 英, 喜多恒和 : HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本, 2019.7
31. 鳥谷部邦明, 谷口晴記, 吉野直人, 杉浦 敦, 定月みゆき, 桃原祥人, 出口雅士, 大里和広, 喜多恒和 : 日本における HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン初版と HIV 母子感染予防対策マニュアル第 7 版の改訂. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本, 2019.7
32. 大里和広, 吉野直人, 小山理恵, 杉浦 敦, 喜多恒和 : 妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査における未受診妊婦の問題. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本, 2019.7

33. 定月みゆき、中西美紗緒、蓮尾泰之、林 公一、喜多恒和：HIV 感染妊娠の経陰分娩導入に関してわが国が抱える診療体制の課題。第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会。松本、2019.7
34. 喜多恒和、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、山田里佳、定月みゆき、桃原祥人、大津 洋：HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究。令和元年度エイズ対策研究事業の企画と評価に関する研究 厚生労働省エイズ対策政策研究事業 日本医療研究開発機構エイズ対策実用化研究事業合同研究成果発表会。東京、2019.8
35. 伊藤由子、吉野直人、大里和広、小山理恵、高橋尚子、喜多恒和：梅毒感染妊婦に関する全国調査。第 50 回日本看護学会。長野、2019.9
36. 桃原祥人、吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、塚原優己、渡邊英恵、羽柴知恵子、廣瀬紀子、佐野貴子、鈴木ひとみ、長與由紀子、津國瑞紀、浅野 真、谷村憲司、森實真由美、木内 英、喜多恒和：HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査と今後の啓発活動の考察。第 33 回日本エイズ学会学術集会。熊本、2019.11
37. 杉浦 敦、山中彰一郎、竹田善紀、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、藤田 綾、高橋尚子、大津 洋、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：本邦における HIV 感染妊娠の将来予測。第 33 回日本エイズ学会学術集会。熊本、2019.11
38. 竹田善紀、杉浦 敦、山中彰一郎、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、高橋尚子、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：HIV 感染の判明時期が妊娠後期・分娩後であった症例に関する検討。第 33 回日本エイズ学会学術集会。熊本、2019.11
39. 白野倫徳、山田里佳、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、出口雅士、中西 豊、鳥谷部邦明、大里和広、千田時弘、杉野裕子、羽柴知恵子、渡邊英恵、杉浦 敦、吉野直人、定月みゆき、田中瑞恵、桃原祥人、喜多恒和：HIV 母子感染予防の cART～「HIV 母子感染予防対策マニュアル（第 8 版）」および「HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン（初版）」より～。第 34 回日本エイズ学会学術集会。熊本、2019.11
40. 大里和広、吉野直人、伊藤由子、小山理恵、高橋尚子、杉野 敦、田中瑞恵、山田里佳、谷口晴記、桃原祥人、定月みゆき、塚原優己、喜多恒和：未受信妊婦の HIV スクリーニングの現状--妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査より。第 33 回日本エイズ学会学術集会。熊本、2019.11
41. 吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、外川正生、喜多恒和：妊婦 HIV スクリーニング検査陽性症例の診療対応－産婦人科全国調査－。第 33 回日本エイズ学会学術集会。熊本、2019.11
42. 吉野直人、田中瑞恵、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、杉浦 敦、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、外川正生、喜多恒和：HIV 感染児の診療対応－小児科全国調査－。第 33 回日本エイズ学会学術集会。熊本、2019.11
43. 伊藤由子、吉野直人、杉浦 敦、大里和広、小山理恵、高橋尚子、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、喜多恒和：HIV および梅毒感染妊婦に関する全国調査。第 33 回日本エイズ学会学術集会。熊

本、2019.11

44. 大津 洋、田中瑞恵、佐々木泰治、北島浩二、杉浦 敦、吉野直人、喜多恒和：本邦の HIV 感染妊娠の母子調査における患者報告データを併用したリアルワールド情報収集に向けた取り組み. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019.11
45. 杉浦 敦、市田宏司、山中彰一郎、竹田善紀、佐久本 薫、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、太田 寛、喜多恒和：本邦での HIV 感染妊娠の分娩様式に関する検討. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会. 東京 (Web)、2020.4
46. 田中瑞恵、外川正生、兼重昌夫、細川真一、寺田志津子、前田尚子、七野浩之、吉野直人、杉浦 敦、喜多恒和：小児 HIV 感染症の発生動向および診断時の状況の変遷. 第 34 回日本エイズ学会学術集会. Web、2020.11
47. 岩動ちず子、吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、喜多恒和：HIV および妊婦感染症検査実施率の全国調査. 第 34 回日本エイズ学会学術集会. Web、2020.11
48. 伊藤由子、吉野直人、杉浦 敦、岩動ちず子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、喜多恒和：HIV スクリーニング検査実施率と妊娠中後期での再検査の検討. 第 34 回日本エイズ学会学術集会. Web、2020.11
49. 定月みゆき、杉野裕子、蓮尾泰之、林 公一、五味淵英人、中西 豊、中西美紗緒、源 奈保美、中野真希、山田里佳、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、大津 洋、喜多恒和：HIV 感染妊婦への診療体制の現状と経膈分娩導入への課題. 第 34 回日本エイズ学会学術集会. Web、2020.11
50. 杉浦 敦、市田宏司、竹田善紀、山中彰一

郎、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本 薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、吉野直人、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：HIV 母子感染例に関する検討. 第 34 回日本エイズ学会学術集会. Web、2020.11

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

資料1 妊婦へのアンケート依頼文

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)スクリーニング検査に関するアンケート調査のお願い

この度、令和2年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班(研究代表者:喜多恒和、奈良県総合医療センター産婦人科)が行っている研究の一部として、HIV母子感染についての知識の確認およびHIVスクリーニング検査の方法の妥当性について検討することを目的として、妊婦さんを対象としたアンケート調査を行うことになりました。この調査は当センターの倫理委員会で、その科学性・倫理性が審議され承認されたものですが、調査回答を強制するものではありませんし、回答いただけない場合でも何ら不利益をこうむることはありません。以上をご理解いただき、そのうえでどうかご協力いただけますようお願いいたします。

1. 調査の方法

- 1)対象者:妊娠初期妊婦(妊娠初期検査を行う方)
- 2)調査の方法:アンケート方式
- 3)個人情報の保持:このアンケートでは個人を特定できる情報を集積しておらず、個人情報が漏洩することではなく、また集積データから個人を特定することも不可能です。
- 4)調査期間:2021年3月~2024年3月
- 5)集積情報の解析と報告:毎年度の研究報告書に結果を掲載し、その一部あるいは全部が厚労省ホームページおよび研究班ホームページで一般公開されます。

2. 調査および情報管理の責任

奈良県総合医療センター産婦人科 喜多恒和
〒630-8581 奈良県奈良市七条西町 二丁目 897-5 Tel:0742-46-6001 Fax:0742-46-6011

3. 調査に参加することにより予想される利益と起こるかもしれない不利益

1)予想される利益

アンケート調査をおこなうことで HIV 感染妊娠に関するわが国の社会的現状を把握でき、一般国民の知識向上につなげることができます。

(2)起こるかもしれない不利益

本調査に参加することで、身体的・経済的な不利益はありません。

4. 患者さんの費用負担について

本調査は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業によって行われます。アンケート調査に参加することでの診療に伴う費用負担が増えることはなく、報酬もありません。

5. 担当医師の連絡先

この調査について疑問や質問がありましたら、アンケート実施施設の担当医師に遠慮なくお問い合わせ下さい。

HIV スクリーニング検査にかかわるアンケート

以下の質問にお答えいただき、該当するものに○をお書きください。

① HIV が母子感染(妊娠中に母体から赤ちゃんに感染)するということを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

② HIV のスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

③ HIV スクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性(詳しく調べると実際は感染していない:1万人のうち31人がスクリーニング検査で陽性となりますが、そのうち30人は確認検査の結果は陰性)であることを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

④ HIV スクリーニング検査で陽性とした場合、確認検査の結果が出るまでに1週間ほどかかります。その期間についてどのように想像しますか。

1. 非常に動揺する
2. 動揺はするが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる
3. あまり気にならない

⑤ このアンケートにお答えいただいた方の年齢をおしえてください

- | | |
|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 4. 30歳～34歳 |
| 2. 20歳～24歳 | 5. 35歳～39歳 |
| 3. 25歳～29歳 | 6. 40歳以上 |

⑥ このアンケートにお答えいただいた方の出産回数をおしえてください

1. 0回
2. 1回
3. 2回以上

⑦ このアンケートで、HIV 感染についての知識は増えましたか

1. 増えた
2. 増えなかった
3. 以前にもこのアンケートを受けたことがある

リーフレット『クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ』についてお答えください。

⑧ リーフレットをお読みいただきましたか

1. もらっていない
2. 読んだ
 - ↳ どれくらい内容を理解できましたか
 - ・80%以上 ・50%以上 ・30%以上
 - ・ほとんど理解できなかった
3. もらったが読んでいない



⑨-1 性感染症にはエイズ(HIV 感染)、性器ヘルペスなどたくさんありますが、ここ数年梅毒患者は急増していますか

1. はい
2. いいえ

⑨-2 妊婦さんが梅毒にかかっていると赤ちゃんに重大な影響を及ぼしますが、妊娠中に治療すれば治すことができますか

1. はい
2. いいえ

⑩ 性感染症以外にも母子感染して赤ちゃんに重大な影響を及ぼす病気がたくさんあります。中でも風疹は赤ちゃんに難聴や、心臓の病気などが現れることがありますが、妊娠前のワクチン接種で防ぐことができますか

1. はい
2. いいえ

ご協力ありがとうございました

資料 3 HP 閲覧数 (2021 年 1 月 - 2 月)



表1 妊娠初期妊婦に対するアンケート結果（定点施設）

施設名	大学病院		公的病院		市中病院	有床診療所		合計	(参考) 前々々回合計 (H28年度)	(参考) 前々々回合計 (H29年度)	(参考) 前々々回合計 (H30年度)	(参考) 前々回合計 (R1年度)
	獨協医科大学	奈良県総合 医療センター	都立大塚病院	成増産院	伊東レディース クリニック	松田母子 クリニック						
回答数	10	17	0	94	0	0	121	136	395	314	439	
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。												
1:はい	9 (90.0%)	13 (76.5%)	0 (0.0%)	79 (84.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	101 (83.5%)	121 (88.3%)	321 (81.5%)	254 (80.9%)	356 (81.1%)	
2:いいえ	1 (10.0%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	15 (16.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (16.5%)	16 (11.7%)	73 (18.5%)	60 (19.1%)	83 (18.9%)	
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。												
1:はい	7 (70.0%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	54 (57.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	66 (54.5%)	71 (52.2%)	212 (53.8%)	150 (47.8%)	214 (48.7%)	
2:いいえ	3 (30.0%)	12 (70.6%)	0 (0.0%)	40 (42.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (45.5%)	65 (47.8%)	182 (46.2%)	164 (52.2%)	225 (51.3%)	
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。												
1:はい	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (6.6%)	9 (6.6%)	21 (5.3%)	15 (4.8%)	29 (6.6%)	
2:いいえ	7 (70.0%)	17 (100.0%)	0 (0.0%)	89 (94.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	113 (93.4%)	127 (93.4%)	373 (94.7%)	299 (95.2%)	410 (93.4%)	
④HIVスクリーニング検査で陽性となった場合、確認検査の結果が出るまで1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。												
1:非常に動揺する	6 (60.0%)	12 (70.6%)	0 (0.0%)	46 (48.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	64 (52.9%)	72 (52.9%)	203 (51.8%)	148 (47.1%)	215 (49.1%)	
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	4 (40.0%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	37 (39.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	46 (38.0%)	49 (36.0%)	156 (39.8%)	123 (39.2%)	181 (41.3%)	
3:あまり気にならない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (11.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (9.1%)	15 (11.0%)	33 (8.4%)	43 (13.7%)	42 (9.6%)	
⑤年齢												
1:20歳未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (1.5%)	4 (1.0%)	5 (1.6%)	4 (0.9%)	
2:20歳～24歳	2 (20.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	9 (9.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (10.7%)	9 (6.6%)	30 (7.6%)	29 (9.3%)	34 (7.7%)	
3:25歳～29歳	2 (20.0%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	18 (19.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (19.0%)	24 (17.6%)	76 (19.3%)	65 (20.8%)	104 (23.7%)	
4:30歳～34歳	1 (10.0%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	44 (46.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	49 (40.5%)	52 (38.2%)	146 (37.2%)	120 (38.3%)	151 (34.4%)	
5:35歳～39歳	4 (40.0%)	6 (35.3%)	0 (0.0%)	19 (20.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (24.0%)	36 (26.5%)	106 (27.0%)	78 (24.9%)	104 (23.7%)	
6:40歳以上	1 (10.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (5.0%)	13 (9.6%)	31 (7.9%)	16 (5.1%)	42 (9.6%)	
⑥出産回数												
1:0回	5 (50.0%)	10 (58.8%)	0 (0.0%)	46 (48.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	61 (50.4%)	71 (52.2%)	171 (43.5%)	169 (54.0%)	216 (49.2%)	
2:1回	5 (50.0%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	27 (28.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (30.6%)	49 (36.0%)	156 (39.7%)	99 (31.6%)	148 (33.7%)	
3:2回	0 (0.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	21 (22.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (19.0%)	16 (11.8%)	66 (16.8%)	45 (14.4%)	75 (17.1%)	
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。												
1:増えた	9 (90.0%)	17 (100.0%)	0 (0.0%)	90 (95.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	116 (95.9%)	130 (95.6%)	380 (97.2%)	301 (96.2%)	411 (93.8%)	
2:増えなかった	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)	6 (4.4%)	11 (2.8%)	10 (3.2%)	23 (5.3%)	
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)			2 (0.6%)	4 (0.9%)	
⑧リーフレットをお読みいただきましたか。												
1:もらっていない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (39.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (30.8%)					
2:読んだ	8 (80.0%)	7 (43.8%)	0 (0.0%)	39 (41.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	54 (45.0%)					
3:読んでいない	2 (20.0%)	9 (56.3%)	0 (0.0%)	18 (19.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (24.2%)					
⑨「2:読んだ」を選択した人の理解度												
理解度 80%以上	3 (37.5%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	20 (51.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28 (51.8%)					
理解度 50%以上	4 (50.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	16 (41.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (38.9%)					
理解度 30%以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.7%)					
ほとんど理解できず	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)					
⑩-1 性感染症にはエイズ(HIV感染)、性器ヘルペスなどたくさんありますが、ここ数年梅毒患者は急増していますか。												
1:はい	8 (80.0%)	10 (76.9%)	0 (0.0%)	62 (81.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	80 (80.8%)					
2:いいえ	2 (20.0%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	14 (18.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (19.2%)					
⑩-2 妊婦さんが梅毒にかかっていると赤ちゃんに重大な影響を及ぼしますが、妊娠中に治療すれば治すことができますか。												
1:はい	8 (80.0%)	12 (92.3%)	0 (0.0%)	57 (79.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	77 (81.1%)					
2:いいえ	2 (20.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	15 (20.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (18.9%)					
⑩風疹の母子感染は妊娠前のワクチン接種で防ぐことができますか。												
1:はい	8 (80.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)	76 (95.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	98 (94.2%)					
2:いいえ	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (5.8%)					

表2 妊娠初期妊婦に対するアンケート結果（奈良市内有床診療所）

施設名	有床診療所					合計
	H医院	N産婦人科	O産婦人科	Tクリニック	T産婦人科	
回答数	29	33	21	4	32	119
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。						
1:はい	23 (79.3%)	25 (75.8%)	19 (90.5%)	3 (75.0%)	27 (84.4%)	97 (81.5%)
2:いいえ	6 (20.7%)	8 (24.2%)	2 (9.5%)	1 (25.0%)	5 (15.6%)	22 (18.5%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。						
1:はい	14 (48.3%)	18 (54.5%)	13 (61.9%)	1 (25.0%)	21 (65.6%)	67 (56.3%)
2:いいえ	15 (51.7%)	15 (45.5%)	8 (38.1%)	3 (75.0%)	11 (34.4%)	52 (43.7%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。						
1:はい	3 (10.3%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (9.4%)	7 (5.9%)
2:いいえ	26 (89.7%)	32 (97.0%)	21 (100.0%)	4 (100.0%)	29 (90.6%)	112 (94.1%)
④HIVスクリーニング検査で陽性とした場合、確認検査の結果が出るまでに1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。						
1:非常に動揺する	15 (51.7%)	17 (51.5%)	10 (47.6%)	3 (75.0%)	20 (62.5%)	65 (55.6%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	12 (41.4%)	12 (36.4%)	11 (52.4%)	1 (25.0%)	10 (31.3%)	46 (39.3%)
3:あまり気にならない	2 (6.9%)	4 (12.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	6 (5.1%)
⑤年齢						
1:20歳未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2:20歳～24歳	3 (10.3%)	1 (3.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (4.2%)
3:25歳～29歳	8 (27.6%)	8 (24.2%)	11 (52.4%)	1 (25.0%)	7 (21.9%)	35 (29.4%)
4:30歳～34歳	14 (48.3%)	18 (54.5%)	6 (28.6%)	1 (25.0%)	12 (37.5%)	51 (42.9%)
5:35歳～39歳	4 (13.8%)	5 (15.2%)	3 (14.3%)	2 (50.0%)	11 (34.4%)	25 (21.0%)
6:40歳以上	0 (0.0%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	3 (2.5%)
⑥出産回数						
1:0回	15 (51.7%)	15 (45.5%)	10 (47.6%)	1 (25.0%)	14 (43.8%)	55 (46.2%)
2:1回	10 (34.5%)	9 (27.3%)	6 (28.6%)	2 (50.0%)	10 (31.3%)	37 (31.1%)
3:2回	4 (13.8%)	9 (27.3%)	5 (23.8%)	1 (25.0%)	8 (25.0%)	27 (22.7%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。						
1:増えた	28 (96.6%)	32 (97.0%)	21 (100.0%)	4 (100.0%)	32 (100.0%)	117 (98.3%)
2:増えなかった	1 (3.4%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
⑧リーフレットをお読みいただきましたか						
1:もらっていない	0 (0.0%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	3 (2.5%)
2:読んだ	26 (89.7%)	23 (69.7%)	19 (90.5%)	3 (75.0%)	27 (84.4%)	98 (82.4%)
3:読んでいない	3 (10.3%)	9 (27.3%)	2 (9.5%)	1 (25.0%)	3 (9.4%)	18 (15.1%)
⑨で「2:読んだ」を選択した人の理解度						
理解度 80%以上	20 (76.9%)	11 (47.8%)	11 (57.9%)	1 (33.3%)	16 (59.3%)	59 (60.2%)
理解度 50%以上	4 (15.4%)	11 (47.8%)	6 (31.6%)	1 (33.3%)	8 (29.6%)	30 (30.6%)
理解度 30%以上	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	3 (11.1%)	5 (5.1%)
ほとんど理解できず	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
⑩-1 性感染症にはエイズ(HIV感染)、性器ヘルペスなどたくさんありますが、ここ数年梅毒患者は急増していますか。						
1:はい	26 (89.7%)	28 (93.3%)	20 (100.0%)	3 (75.0%)	25 (83.3%)	102 (90.3%)
2:いいえ	3 (10.3%)	2 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	5 (16.7%)	11 (9.7%)
⑩-2 妊婦さんが梅毒にかかっていると赤ちゃんに重大な影響を及ぼしますが、妊娠中に治療すれば治すことができますか。						
1:はい	23 (82.1%)	25 (83.3%)	19 (95.0%)	3 (100.0%)	25 (86.2%)	95 (86.4%)
2:いいえ	5 (17.9%)	5 (16.7%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	4 (13.8%)	15 (13.6%)
⑩風疹の母子感染は妊娠前のワクチン接種で防ぐことができますか。						
1:はい	28 (96.6%)	30 (100.0%)	19 (95.0%)	3 (100.0%)	30 (100.0%)	110 (98.2%)
2:いいえ	1 (3.4%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)